

阪神地域への新たな多部制単位制高等学校の規模及び再編対象となる定時制高等学校について

「県立高等学校教育改革第二次実施計画」に基づき、多様な教育ニーズに対応するために、平成 24 年 4 月に阪神地域に新たな多部制単位制高等学校を設置するとともに、近隣の定時制高等学校の再編を行う。多部制単位制高等学校の学校規模及び再編対象となる定時制高等学校については、次のとおりとする。

[多部制単位制高校の特色]

- 1 部（午前）、2 部（午後）、3 部（夜間）の 3 つの部を設置。
- 生徒の仕事や生活環境などのライフスタイルに合わせ、多様な教育ニーズへの対応が可能。
- ・ 学年の区分がなく入学から卒業までに決められた単位を修得すれば卒業できる単位制のシステム
- ・ 生徒自らの学習計画に基づき、興味・関心、進路希望や学習の習熟程度に応じた科目選択が可能

1 新たに設置する多部制単位制高等学校の学校規模について

- (1) 開校時期 平成 24 年 4 月
- (2) 設置場所 伊丹市池尻（旧県立武庫荘高等学校跡地）
- (3) 学 科 普通科
- (4) 学校規模 6 学級程度・・・各部（1 部～3 部）の募集定員については、平成 22・23 年度入学者選抜における再編対象となる定時制高等学校の志願状況等を勘案して、平成 23 年度に決定する。

2 再編対象となる定時制高等学校

県立川西高等学校（2 学級、川西市加茂）、県立川西高等学校宝塚良元校（1 学級、宝塚市小林）、伊丹市立高等学校（3 学級、伊丹市行基町）とし、3 校（6 学級）とも平成 24 年度から募集を停止する。

3 再編に伴う移行措置

新設多部制単位制高等学校の 3 部には、平成 24 年度から平成 26 年度末までの 3 年間（H24.4～H27.3）、本校以外の教室（川西教室、宝塚教室）を、県立川西高等学校と県立川西高等学校宝塚良元校に設置する。本校・川西教室・宝塚教室のいずれの場所で学ぶかについては、入学生の事情等をふまえて決定する。川西教室及び宝塚教室については、再編対象校が閉校する平成 26 年度末をもって廃止し、在學生は本校（新設多部制単位制高等学校）に移転する。

4 通学への配慮

- (1) 通学の利便性確保のために、新たなバス路線の設置等について関係機関と調整する。
- (2) 3 部において新たな履修形態を、新学習指導要領への移行を踏まえて、平成 25 年度から実施する。
新たな履修形態
1 日 3 時間履修（20 時ごろ授業終了）に加え、学校外の単位（定通併修等）を認定することにより 4 年間で卒業。

[参 考]

- (1) 募集停止後の再編対象校の在校生が学ぶ場所（H24～26）
 - ・ 川西高校、川西高校宝塚良元校・・・現行通り
 - ・ 伊丹市立高校・・・伊丹市立高校として平成 24 年度に多部制単位制高校の敷地内に移転

(2) 再編に伴う移行措置

		H22	H23	H24	H25	H26	H27
定時制	川 西	2 学級 募集	2 学級 募集	〔募集停止〕 2～4 年生在籍	3・4 年生在籍	4 年生在籍	〔廃止〕
	宝塚良元	1 学級 募集	1 学級 募集				
既設	伊丹市立	3 学級 募集	3 学級 募集	〔募集停止〕 2～4 年生在籍 多部制敷地内に移転	3・4 年生在籍 多部制敷地内	4 年生在籍 多部制敷地内	〔廃止〕
多部新 制設 単 位 制	1 部（午前）			〔開校〕 1 年次在籍	1・2 年次在籍	1～3 年次在籍	〔完成年度〕 1～4 年次在籍
	2 部（午後）						
	3 部（夜間）						
	川西教室 宝塚教室			〔設置〕	川西教室、宝塚教室を運営		〔廃止〕